



| | |
|------------|---|
| Title | 米国管理下の南西諸島状況雑件 日米協ギ(委)(議長メモ(1) 外務省外交史料館レファレンス番号:H220663) |
| Author(s) | - |
| Citation | 平成22年度外交記録公開(2)No.2 公開日:平成22年11月26日 外務省外交史料館管理番号:A'.3.0.0.7-1(158) CD・DVD番号:H22-005 |
| Issue Date | |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/43721 |
| Rights | 外務省外交史料館所蔵資料 |

議長
x
氏

外務大臣が欠席の場合^{準備}（佐務長官が代行）
直前に出席が決定したため議案となる。



第8回協議委員会
議長用メモ

昭和40/1. 2
北米局北米課

（着席）

（報道関係者は、あらかじめ所定の位置に入場、写真撮影の後退場。）

1. （開会）

只今より、沖縄に関する第8回協議委員会を開催いたします。

本日は、国会における審議の関係で椎名外務大臣が、やむなく欠席いたすこととなりましたので、私が日本側を代表し、あわせて議長を勤めさせていただきます。

（通訳）

ここで、ライシャワー大使より御発言の希望があると承知しております。大使どうぞ。

（通訳）

（ライシャワー大使より、ネピアー副民政官を紹介）

大使ありがとうございました。私は、この委員会の姉妹機関である技術委員会の議長であるネピアー副民政官が、オブザーヴァーとして、本委員会に出席されることに対し、議長として、また日本側代表として心から歓迎の意を表します。

ついで、本日の議題についておはかりいたします。お手許にお配りした議事日程案に御異議ありませんか。

御異議なければ、これにて議事を進めます。

（通訳）

2. （援助計画案に関する討議）

只今採択された議事日程にありますとおり、本日の委員会は、去る10月29日から那覇で開催された技術委員会における検討の結果作成された来年度の日本政府の対沖縄援助に関する計画一覧表を討議することが目的であります。

幸い、本日はネピアー技術委員会議長が出

席しておられますので、同議長より、計画一覧表を協議委員会に御提出願いたいと存じます。

(通訳)

(ネピア一副民政官、計画一覧表を総務長官に手交。発言があれば、通訳。)

ありがとうございました。

私は、技術委員会が、協議委員会から援助計画案の回付を受けてから僅か旬日の間に十分な討議を尽し、日本政府对沖縄援助計画一覧表を作成された御努力に対し、ネピア一技術委員会議長をはじめ、技術委員会の関係者に心からの敬意を表したいと存じます。

(通訳)

日本側は、技術委員会から提示された計画一覧表を、日本国政府の予想援助計画といたしたいと存じます。すなわち、日本側の具体的援助計画を最終的に確定するためには、昭和39年4月25日付交換公文2項(6)に規定

されているとおり、なお国内的措置を要するのでありますが、日本国政府としては、その留保を付した上で、この計画一覧表に同意するものであります。

米側においても、同様の了解をもつて、この予想援助計画に同意されるか否かおたづねしたいと存じます。

(通訳)

(ライシャワー大使より、同意する旨発言)

これによつて、来会計年度日本政府の予想援助計画は、合意されました。

(通訳)

この機会に、私から一言御挨拶申し上げたいと存じます。

(発言テキスト別紙 — 通訳)

米側委員からなにか御発言がございませうか。

(米側から発言 — 通訳)

ありがとうございました。

3. (新聞発表に関する協議)

では、ここで恒例に従い、本日の協議の結果を新聞にどの程度発表すべきかについておはかりいたします。

双方の事務当局間で作成した一案をお手許に配布いたしてあります。この案は、昨年の例よりは、若干詳細な説明を含むものとなっておりますが、この案のとおり新聞に発表することについて、御異議ありませんか？

(通訳)

御異議がなければ、そのように決定いたします。

(通訳)

4. (閉会)

終りにあたりまして、本日の協議が出席者各位の御協力により、円滑に進んだことに対

し、議長として謝意を表します。

これをもって、第8回協議委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

(通訳)

秘
無期限

第8回協議委員会
議事日程

昭和40.11.2

1. 技術委員会提出の昭和41会計年度日本政府
対沖縄援助計画一覧表
2. 新聞発表に関する協議

CONFIDENTIAL

The Eighth Meeting of
the Consultative Committee

November 2, 1965

Agenda

1. The list of projects submitted by the Technical
Committee concerning Japanese Government's Assistance
Program to the Ryukyu Islands for JFY 1966
2. Agreement on Statement to Press